

KONISHI REPORT

第93期 株主通信

第2四半期累計期間

平成29年4月1日～平成29年9月30日

 **コニシ株式会社**

証券コード：4956

2020年 創業150周年に向け、 重点施策を着実に実行してまいります。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩和的な金融環境や政府の大型経済対策による財政支出などを背景に、景気は緩やかな回復基調が続いております。また個人消費は雇用・所得環境の改善を背景に底堅く推移し、設備投資は企業収益の改善により持ち直しております。

当社グループの関連業界では、住宅業界においては、持家・貸家等の新設住宅着工戸数は横ばいで推移しております。土木建設業界においては、都市部の再開発や建築物の補修・改修工事の需要および道路、鉄道などのインフラ整備並びに維持修繕の需要は堅調に推移しております。自動車業界においては、IT化に伴う電子部品等の需要が増加しております。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高602億98

百万円(前年同四半期比5.2%増)、営業利益30億36百万円(前年同四半期比15.8%増)、経常利益30億54百万円(前年同四半期比27.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は19億20百万円(前年同四半期比20.1%増)となりました。

当社グループは、平成28年3月期を初年度とする3カ年の中期経営計画を策定しており、平成30年3月期が目標到達年度となっております。中期計画達成に向け、ボンドセグメントにおいては、コア事業と位置づける汎用、住宅関連、産業資材分野で販売の拡大、海外への積極展開を図って参ります。化成品セグメントにおいては、組織の構造改革を進め新規商材・新規顧客の開拓を図り、商品の高付加価値化と海外への進出を実現できる体制の構築を目指しております。また、土木建設

セグメントにおいては、建築補修分野での補修材・シーリング材の販売拡大、土木分野では補修・補強工法を積極的に展開し、補修・補強工事の請負事業である関係工事会社との連携強化を進めて参ります。

さて、当社は3年後の2020年には創業150年を迎えることとなります。今期から更なる事業拡大を目指し関係会社を含めたグループ経営組織に変更しておりますが、グループ間での連携強化による相乗効果を発揮し、より一層企業価値を高めて参ります。

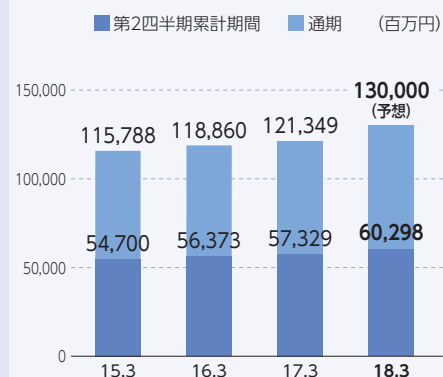
株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 よこ た たかし
横田 隆

売上高

60,298
百万円

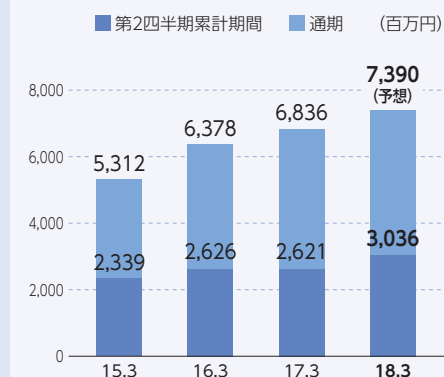
前年同四半期比
5.2%増▲



営業利益

3,036
百万円

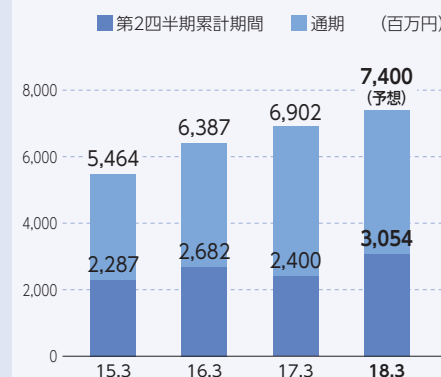
前年同四半期比
15.8%増▲



経常利益

3,054
百万円

前年同四半期比
27.2%増▲



ポイント解説

●売上高は、各セグメントともに順調に推移いたしました。

特に土木建設セグメントは、関係会社を中心としたインフラおよびストック市場の補修・改修・補強工事が好調に推移し、また土木建設分野に使用される接着剤・シーリング材も順調に推移し、売上を大きく伸ばしました。

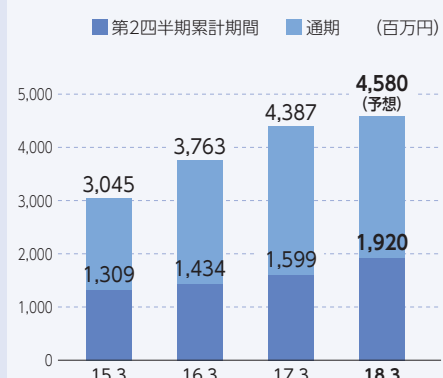
●営業利益は、各セグメントの売上高増加により大きく伸ばしました。

なお、土木建設セグメントは7月に子会社化した角丸建設(株)の株式取得関連費用の計上があり微減となりましたが、ボンドセグメント、化成品セグメントはともに順調に伸ばしました。

親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

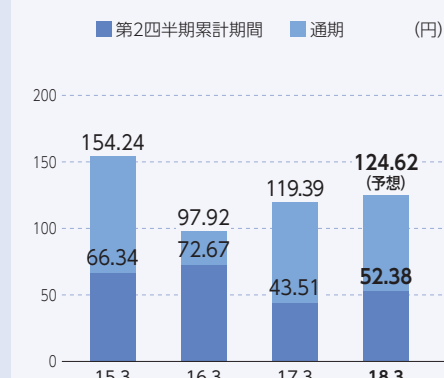
1,920
百万円

前年同四半期比
20.1%増▲



1株当たり四半期(当期)純利益

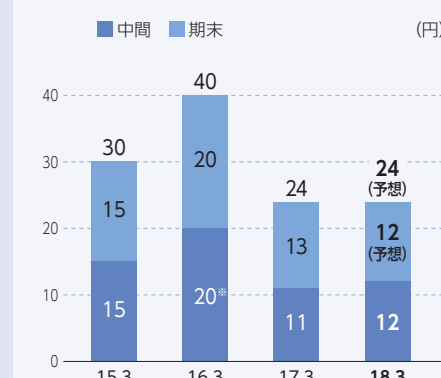
52.38 円



2016年4月1日を効力発生日として、普通株式を1株につき2株の割合をもって分割しております。2016年3月期以降における1株当たり四半期純利益および1株当たり当期純利益については、当該株式分割後の発行済株式総数(自己株式数を除く)により算定しております。

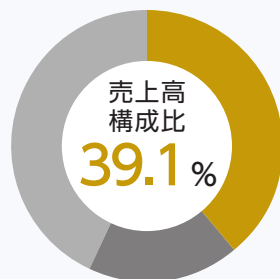
1株当たり中間(期末)配当金

12 円



※普通配当 15円
株式会社設立90周年記念配当 5円
2016年4月1日を効力発生日として、普通株式を1株につき2株の割合をもって分割しております。2016年3月期以前の配当については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

ボンド



売上高

23,581 百万円

前年同四半期比

+3.1%

営業利益

2,261 百万円

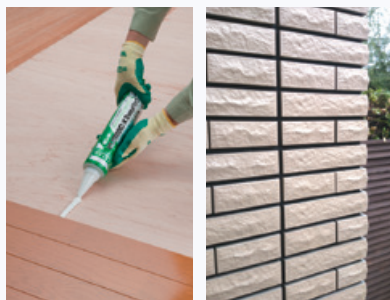
前年同四半期比

+10.6%

当第2四半期連結累計期間の概況

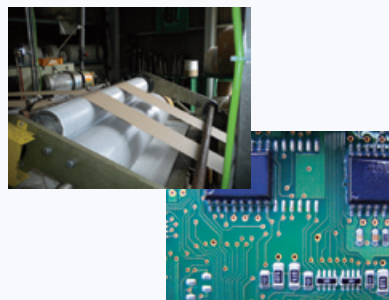
住宅関連

タイル用接着剤は新規開拓が進み売上は大きく増加しました。現場で使用される内装用接着剤も順調に推移しました。



産業資材関連

紙関連用途向け、パネル用途向け接着剤が引き続き好調に推移しました。また自動車・電子部品等に使用される接着剤も売上を伸ばしました。



関係会社

サンライズ・エム・エス・アイ(株)は一般戸建住宅用シーリング材や車両用シール材が好調に推移しました。またウォールボンド工業(株)もコニシ(株)向け壁紙施工用接着剤の販売が増加し順調に推移しました。



事業内容

「ボンド」ブランドの接着剤、シーリング材、工業用テープ、離型剤、ワックスなどを製造するメーカーとしての活動を行っています。ボンドセグメントが関わる分野は、住まいの内外装工事に使用される住宅関連分野、工場の生産ラインで使用される産業資材関連分野、工作・DIYで使用される一般家庭用分野など多岐にわたります。

浦和と大阪に研究開発拠点を備え、新製品の開発・改良を行っています。生産拠点は栃木工場・滋賀工場の2拠点で、栃木と滋賀には自社で物流センターを構えています。



セグメント構成

コニシ(株) ボンド営業本部

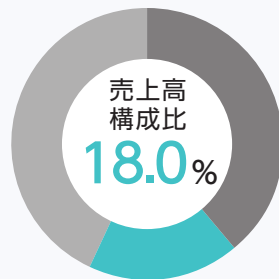
水口化学産業(株) ボンドケミカル商事(株) ボンド販売(株) ボンド物流(株) ウォールボンド工業(株)

サンライズ・エム・エス・アイ(株) (株)スタイル運輸 科昵西貿易(上海)有限公司 科陽精細化工(蘇州)有限公司

Kony Sunrise Trading Co.,Ltd.(タイ) Konishi Lemindo Vietnam Co.,Ltd.(ベトナム)

※今期より、従来は「ボンドセグメント」に含めておりましたが、土木建設分野に使用されます接着剤・シーリング材を「土木建設セグメント」に移管しております。

土木建設



売上高

10,849 百万円

前年同四半期比

+16.7%

営業利益

445 百万円

前年同四半期比

-1.4%

当第2四半期連結累計期間の概況

土木建設工事分野

公共事業を中心としたインフラおよびストック市場の補修・改修・補強工事が堅調に推移しており、ボンドエンジニアリング(株)は大きく売上を伸ばしました。前年は低迷しました近畿鉄筋コンクリート(株)も大きく売上を伸ばしました。



土木建設用の接着剤・シーリング材

建築分野に使用される接着剤は前年並みで推移しましたが、建築用シーリング材は他社からの切替が進み売上を大きく伸ばしました。土木分野に使用される接着剤は道路床板補強工法用の補修材が増加し好調に推移しました。



セグメント構成

コニシ(株) 土木建設営業本部 ボンドエンジニアリング(株) 近畿鉄筋コンクリート(株) コニシ工営(株) 角丸建設(株)

※今期より、従来は「ボンドセグメント」に含めておりました、土木建設分野に使用されます接着剤・シーリング材を「土木建設セグメント」に移管しております。

事業内容

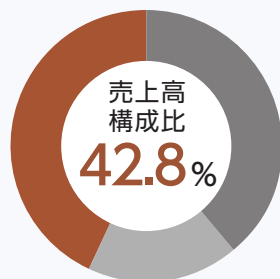
現在では過去に建てられた建築物ストックや社会資本ストックを、補修・改修してより長く利用できるように維持管理していく時代になってきています。コニシグループでは、関係会社を中心に展開しておりますストック市場の維持・補修・改修を目的とした「土木建設」を、「ボンド」「化成品」に次ぐ第3の柱として事業展開しています。

コニシ(株)のビル・マンション・橋梁・トンネルなどを直す際に使用される土木建設用接着剤、補修材、シーリング材と、それら補修・改修工事の請負事業であるコニシグループ関係会社との連携をさらに強化し、人々が豊かで安心できる社会づくりに貢献いたします。



セグメント別の状況

化成品



売上高

25,822 百万円

前年同四半期比

+3.4%

営業利益

304 百万円

前年同四半期比

+209.9%

当第2四半期連結累計期間の概況

化学工業および電子・電機業界向け

樹脂原料の需要が好調に推移し、化学工業業界向けは大きく増加しましたが、電子・電機業界向けは減少しました。



自動車業界・塗料業界向け

自動車業界向けではIT化に伴う電子部品に使用される商材が増加しており売上は堅調に推移しました。また建築用、自動車補修用塗料の販売が大きく落ち込んでおり、塗料向け商材全般が低調に推移しました。



関係会社

丸安産業(株)はコンデンサに使用される商材が好調に推移し売上は増加しました。



セグメント構成

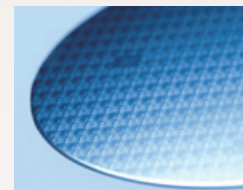
コニシ(株) 化成品営業本部

丸安産業(株) 科昵西貿易(上海)有限公司 PT.KONISHI INDONESIA(インドネシア)

Kony Sunrise Trading Co.,Ltd.(タイ) KF Instruments India Pvt. Ltd.(インド) 台湾丸安股份有限公司

事業内容

企業間を結ぶ化学品専門商社として、メーカーから原料を仕入れて、ユーザーに販売する活動を行っています。化学品、塗料、電子・電機、自動車などの分野を中心に、中国・台湾・タイ・インド・インドネシアの海外拠点とも連携を図りお客様のニーズにお応えしています。



その他

不動産賃貸業となり、売上高45百万円(前年同四半期比73.6%減)、営業利益は19百万円(前年同四半期比11.8%減)となりました。

セグメント構成

コニシ(株) 不動産部門

TOPICS

角丸建設株式会社の株式を取得し、子会社化いたしました。

平成29年7月3日に角丸建設株式会社が新たにコニシグループの一員となりました。

当社グループでは、「土木建設」を「ボンド」「化成品」に次ぐ成長戦略の柱として位置づけ同事業の強化に取り組んでおり、今回の角丸建設株式会社の株式取得はその一環として行いました。

静岡県に本社を置く角丸建設株式会社は、約40年にわたり東海地方を中心に工場や倉庫、ホテル、病院など、事業用建物の建築を得意とするゼネコンです。これらの新築工事に加え、道路工事や河川工事などの土木工事や建築補修工事も請負施工しています。

今後、コニシグループが保有する材料・工法・施工能力と、全国に展開する営業ネットワークを活用することにより、更なる収益拡大を目指していきます。



材料科学研究所を新設いたしました。

平成29年7月1日付で従来の「基礎研究所」を改称し、「材料科学研究所」を発足いたしました。これまで基礎研究所では主に接着剤についての基礎技術・分析手法の開発、長期テーマに取り組んでいましたが、今後は接着剤に捉われない研究開発を進めて参ります。接着剤以外の素材の開発や、商社部門である化成品からのテーマを受けて自社技術を活かした開発を行うなど、新たな研究所としてスタートいたします。



千葉営業所、姫路営業所を新設いたしました。

平成29年4月に千葉営業所、8月には姫路営業所を新設いたしました。千葉地域や兵庫、岡山、鳥取など、更なる地域密着営業の強化、顧客対応の迅速化を図り、新規開拓や新規商流構築を進めて参ります。



千葉営業所



姫路営業所



連結財務諸表

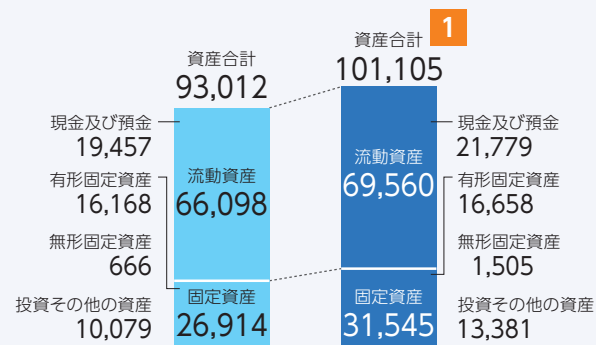
連結貸借対照表

(百万円)

資産の部

前連結会計年度末
平成29年3月31日現在

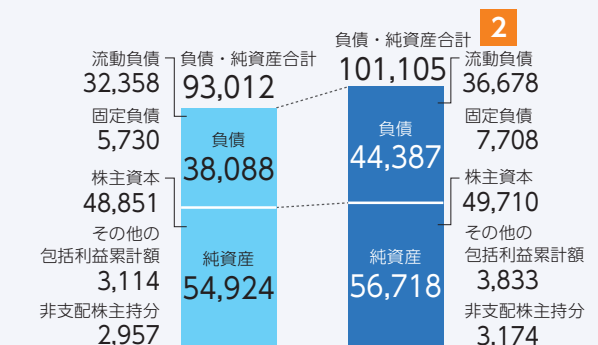
当第2四半期連結会計期間末
平成29年9月30日現在



負債・純資産の部

前連結会計年度末
平成29年3月31日現在

当第2四半期連結会計期間末
平成29年9月30日現在



POINT

1 資産

資産は、現金及び預金が23億22百万円、投資その他の資産のその他が18億11百万円、投資有価証券が14億92百万円、無形固定資産が8億38百万円、有形固定資産が4億89百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ80億92百万円増加しました。

2 負債・純資産

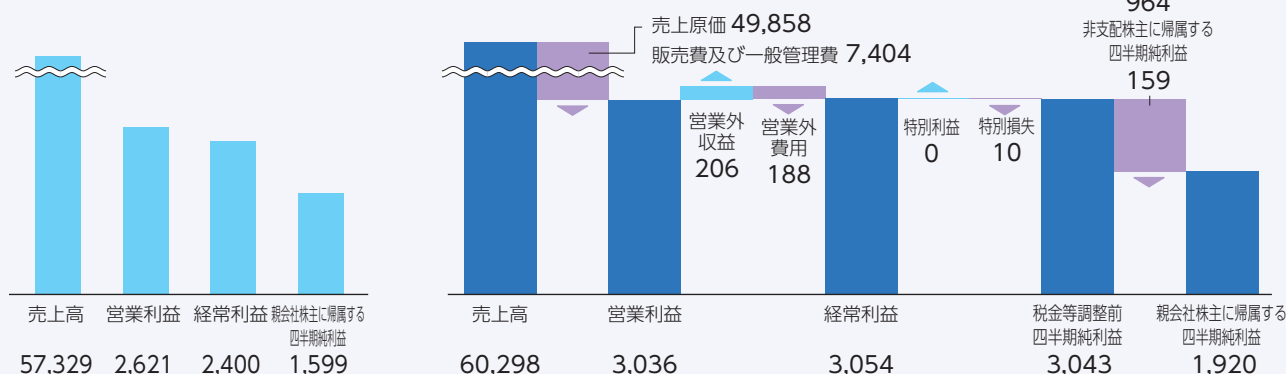
負債は、支払手形及び買掛金が25億80百万円、1年内返済予定の長期借入金が6億90百万円、長期借入金が13億25百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ62億98百万円増加しました。純資産は、マイナス項目である自己株式が6億円増加したものの、利益剰余金が14億42百万円、その他有価証券評価差額金が7億78百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ17億94百万円増加しました。

連結損益計算書

(百万円)

前第2四半期連結累計期間
平成28年4月1日～平成28年9月30日

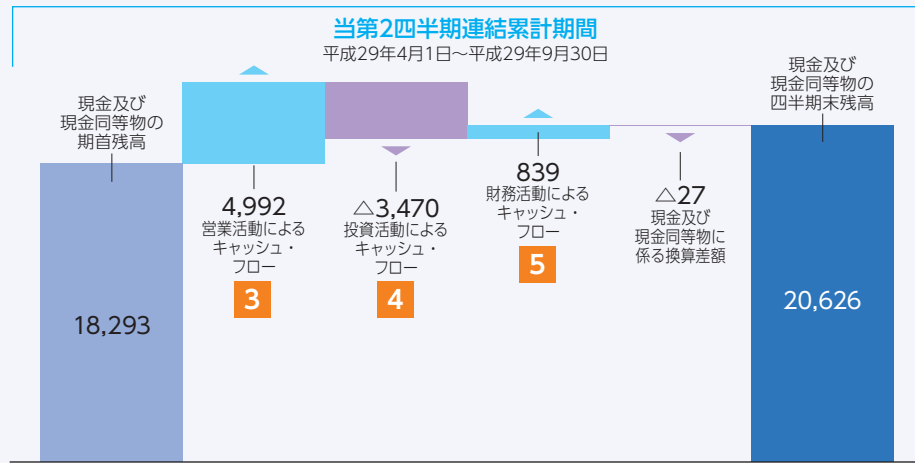
当第2四半期連結累計期間
平成29年4月1日～平成29年9月30日



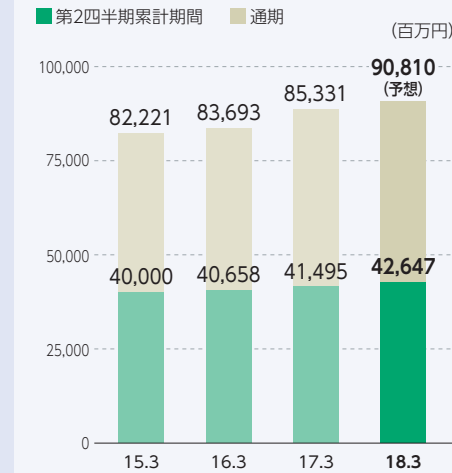
個別財務ハイライト

連結キャッシュ・フロー計算書

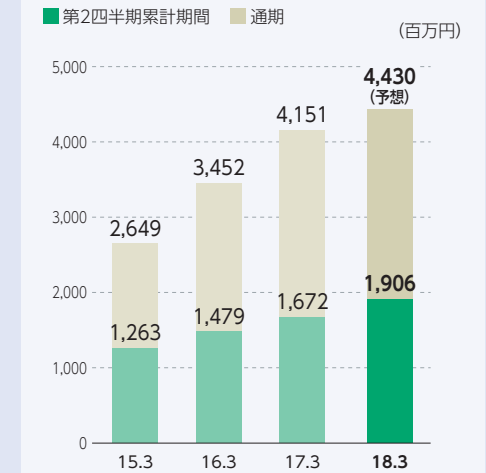
(百万円)



売上高



営業利益



POINT

3 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、法人税等の支払額が10億48百万円あったものの、税金等調整前四半期純利益が30億43百万円、仕入債務の増加額が24億28百万円あったこと等により49億92百万円となりました。

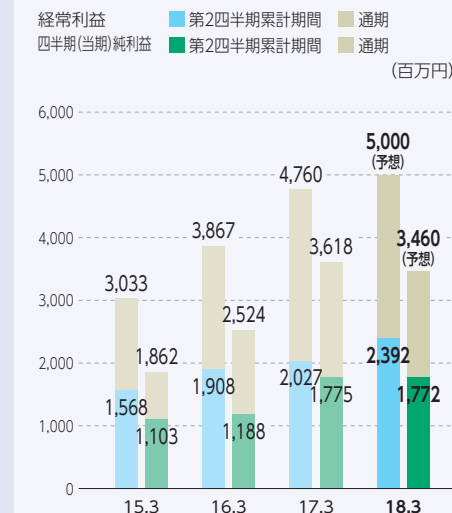
4 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出が28億28百万円あったこと等により34億70百万円となりました。

5 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果得られた資金は、自己株式の取得による支出が6億23百万円、配当金の支払額が4億77百万円あったものの、長期借入れによる収入が22億円あったこと等により8億39百万円となりました。

経常利益・四半期(当期)純利益



総資産・純資産・自己資本比率



会社概要

会社概要

(平成29年9月30日現在)

設立 1925年(大正14年)9月25日

資本金 46億3百万円

従業員数 連結1,366名、単独753名

証券コード 4956

事業所 本店 〒541-0045 大阪市中央区道修町1丁目6番10号
大阪本社 〒541-0045 大阪市中央区道修町1丁目7番1号 北浜TNKビル
東京本社 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2丁目3番地 竹橋スクエア

支店 名古屋、福岡、横浜、札幌

営業所 仙台、栃木、前橋、千葉、静岡、金沢、姫路、高松、広島、沖縄

製造拠点 栃木工場、滋賀工場

研究所 浦和研究所、材料科学研究所、大阪研究所

物流拠点 栃木物流センター、滋賀物流センター

役員

(平成29年9月30日現在)

代表取締役社長	横田 隆	常勤監査役	東郷 正人
取締役専務執行役員	日下部 悟	社外監査役	狩野 仁
取締役常務執行役員	有澤 彰三	社外監査役	吉川 郁夫
取締役常務執行役員	井上 孝一郎	上席執行役員	松端 博文
取締役執行役員	須藤 孝也	上席執行役員	巖 利彦
取締役執行役員	大山 啓一	執行役員	野田 昌治
取締役	小西 哲夫	執行役員	吉川 洋明
社外取締役	高瀬 桂子	執行役員	高中 喜一郎
社外取締役	木村 亮		



株式の状況

発行可能株式総数	160,800,000株
発行済株式の総数	40,707,440株
1単元の株式数	100株
株主数	4,586名

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
コニシ共栄会	2,232,400	6.12
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	1,172,700	3.21
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	886,100	2.43
小西千代子	820,848	2.25
小西啓二	738,096	2.02
コニシ従業員持株会	697,556	1.91
株式会社カネカ	684,000	1.87
小西哲夫	676,100	1.85
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口5)	620,400	1.70
GOLDMAN, SACHS & CO. REG	593,200	1.62

40,707,440株

個人その他	20,844,660株	51.2%
外国法人等	7,688,778株	18.9%
信託銀行	5,354,600株	13.2%
金融機関 (信託銀行以外)	779,600株	1.9%
金融商品取引業者	372,456株	0.9%
その他法人	5,667,346株	13.9%

区分	人数	割合
個人その他	4,196名	91.5%
外国法人等	145名	3.2%
金融商品取引業者	30名	0.7%
信託銀行	17名	0.4%
金融機関 (信託銀行以外)	12名	0.3%
その他法人	186名	4.1%

4,586名

株値(円) 株価 株式売買高 株式売買高(千株)

3,000 2,500 2,000 1,500 1,000 500 0

平成26年 平成27年 平成28年 平成29年

ホームページ紹介



当社ホームページでは、株主・投資家の皆様に対して、企業情報や財務情報について積極的に情報開示を行っております。より深くご理解いただくためにも、ぜひご利用ください。



<http://www.bond.co.jp/ir/index.html>

●株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日

期末配当金受領株主
確定日 3月31日

中間配当金受領株主
確定日 9月30日

定時株主総会 6月

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL 0120-094-777(通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部

公 告 の 方 法 電子公告により行う
公告掲載URL
<http://www.bond.co.jp/ir/koukoku/>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

【ご注意】

- 1.株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にてもお取次ぎいたします。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



大阪本社／〒541-0045 大阪市中央区道修町1-7-1 TEL 06(6228)2811
東京本社／〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2-3 TEL 03(5259)5711



見やすいユニバーサル
デザインフォントを
採用しています。



この印刷物は、環境に配慮しFSCの
認証紙と水なし印刷方式を採用し
ています。